

経営概況

2016年3月期 第3四半期の業績

当第3四半期連結累計期間(2015年4~12月)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にあり、国内の景気は緩やかな回復基調にありました。一方、国際情勢においては、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化や急激な原油安による影響が懸念される等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場は、タブレットの需要拡大やスマートフォン関連商材の販売が好調に推移いたしました。また当業界においては、「電気通信事業法等の一部を改正する法律案」の公表に伴い、全国携帯電話販売代理店協会を中心に、すべてのお客様が安心して安全に携帯電話サービスをご利用いただける環境の構築を目指し、適正な販売に向けた活動が行われました。

このような事業環境下、当社グループは収益源の多様化や採算性の向上に取り組みました。また、携帯電話等販売台数は340万台となり、スマートフォンの販売比率は7割台後半まで上昇いたしました。

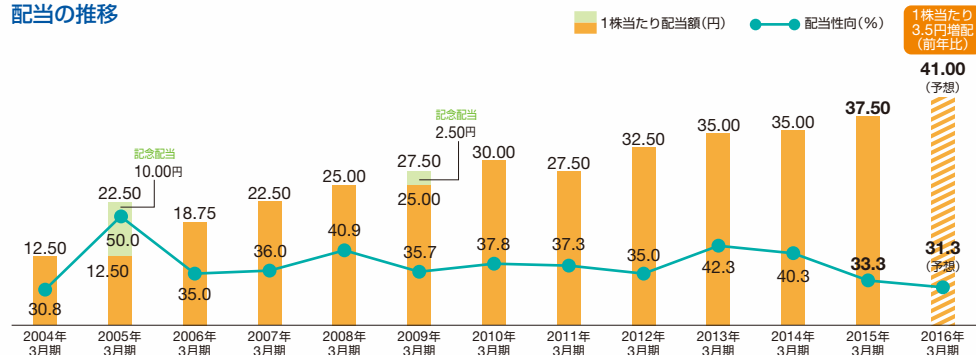
モバイル事業においては、アクセサリ等のスマートフォン関連商材やタブレットを拡販したことに加え、店舗の出店や人材の確保と教育に向けた戦略的な投資を継続いたしました。

ソリューション事業においては、企業のスマートデバイスの導入をサポートし、総合的なモバイルソリューションの提案を強化いたしました。また、FVNO(仮想固定通信事業者)として、光アクセスサービス「TG光」の卸事業を開始する等、固定回線系商材の販売も推進いたしました。

決済サービス事業他においては、ギフトカードの販売が好調に推移したことに加え、海外事業の収益が改善いたしました。

また、全社的な業務効率化等の構造改革を継続した結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,532億84百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益98億8百万円(同1.2%増)、経常利益97億85百万円(同1.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益58億88百万円(同10.4%増)となり、増益となりました。

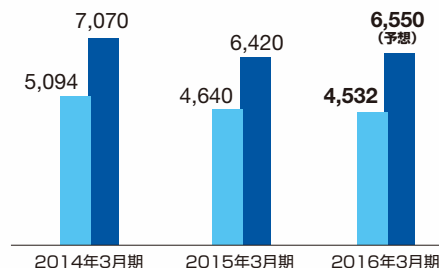
配当の推移



第3四半期連結業績ハイライト

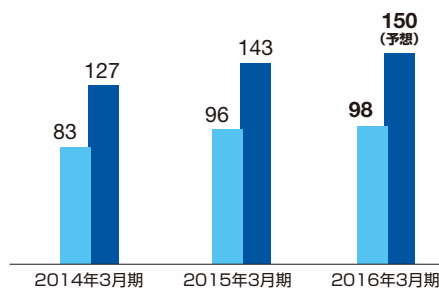
売上高

(億円)



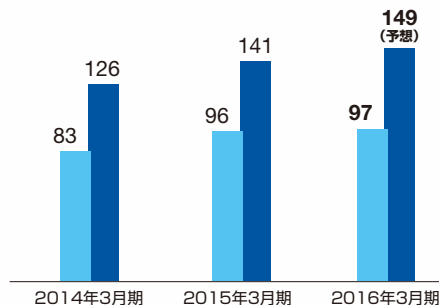
営業利益

(億円)



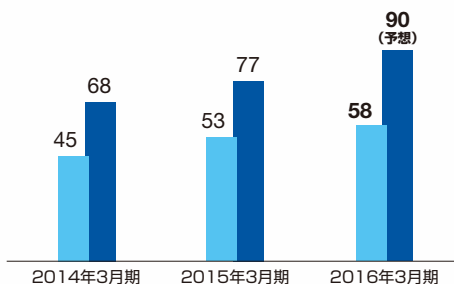
経常利益

(億円)



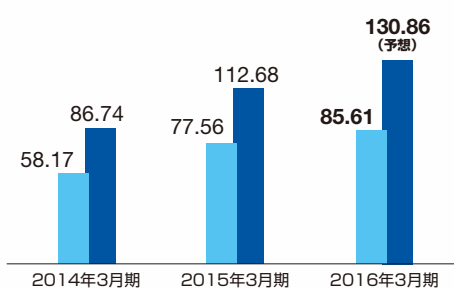
■ 第3四半期(累計) ■ 通期 (単位未満切捨て)

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)

(円)



純資産

(億円)

